

# 全国精神保健福祉会2019年度事業・活動報告

## はじめに

2019（令和元）年度は下記の7点の重点課題を軸に事業をすすめた。

- ・精神保健医療福祉諸政策の改革について、国民的合意をえる全国運動展開への検討に着手する（長期計画策定の検討を含）
  - ・医療費助成の推進と実績の共有
  - ・社会啓発（書籍発行など）と広報情報発信（月刊誌、SNSなど）の強化
  - ・多様な立場の家族との連携とつながる活動の充実（コミュニティサイトの開設）
  - ・賛助会員拡大強化
  - ・ブロック活動の強化
  - ・交通運賃割引制度実現国会請願署名提出
- 以下、事業・活動報告をおこなう。

## 1 2019年度事業の趣旨

- ・精神障がい者と家族の願い実現のために、差別・偏見、人権侵害を無くしていくための精神保健医療福祉改革の法人見解をまとめる。
- ・精神障がい者の支援を家族任せにせず、国と社会が精神障がい者と家族に責任をもって支えるよう社会に働きかけるとともに情報発信をすすめる。

## 2 2019年度基本構想（ビジョン）

### 1) 法人運営の安定した活動を維持するために

- 1) -①法人の持続運営と経営のための助成金依存体質の改善（自主財源の醸成、会員拡大）
  - ・次世代の会員増も視野に入れながら、こども、配偶者、兄弟など多様な立場の活動を補完するなどのとりくみをした。
  - ・調査事業やフォーラムは、従来助成金を経て実施してきたが、完全に自主財源での対応とした。
  - ・みんなねっとブックレット（ペンコムより出版）等書籍出版による啓発や著者からの寄付を頂戴することができた。
- 1) -②法人の政策・事業・財政戦略の業務執行を円滑に進める
  - ・円滑な業務執行が行なえるように、代表理事会にて協議確認を行った。
- 1) -③各都道府県連合会活動（各ブロック研修会議など）への参加と実情の把握
  - ・ブロック研修大会を中心に、理事長、事務局長が同席するなど、直接実情を把握することに努めた。

### 2) 家族本人の願い・思いの実現に向けたとりくみ

- 2) -①課題別要求のとりくみ

- ・ 関係当局開催の会議・審議会への参加協力及び情報発信と集約を行うことを中心に、障害者政策(年金・医療・教育を含む)への要望反映に努めた。
- ・ 精神障害者への公共交通運賃の割引制度の実現、第198国会衆議院・参議院での請願採択、航空運賃割引の実現等に寄与した。(請願署名・JR交渉等)
- ・ 国連障害者権利委員会事前質問事項採択のブリーフィング・ロビーイング  
JDF訪問団(全29名)として、みんなねっとから代表派遣として事務局長が参加。
- ・ 今後の精神保健医療のあり方の法人見解をみんなねっと政策委員会にて検討し、協議のためのたたき台をまとめた。
- ・ 政策委員会の改編と開催

## 2)-②調査研究事業

- ・ 2019年度調査の実施  
「精神障害当事者の家族に対する差別や偏見に関する実態把握調査」  
報告書は、電子データにて公開、他100冊を配布(都道府県連合会・役員等)

## 2)-③ピアサポート事業(相談支援事業から家族会活動の育成強化へ)

2016(平成28)年度より補助金を受けて実施している。「みんなねっと」会員外も対象に全国にて開催した。地域開催の学習会は日本財団助成、養成のとりくみはJKA補助により下記のとおり実施した。

### ・家族学習会のアドバイザー、担当者の養成：【JKA補助事業】

\*企画プロジェクト委員会 年4回開催

\*アドバイザー養成研修会 5回 (\*JKA助成対象外3か所)

\*家族学習会セミナー 3か所実施

\*担当者養成研修会 11か所実施(中止4か所)

### ・地域家族会による学習会の実施：【日本財団助成】

\*全国58か所で実施

### ・家族向けネットコミュニティサイトの確立

LINE家族会(purelight)やエンカレッジの鬱圏域に特化したコミュニティサイトとの連携、協議を重ねている。2020年度にオフラインミーティング(ネットでつながった方たちのリアル会合)の実施に向けての準備に入った。

・電話相談 年間相談件数419件 毎週水曜日開通

相談員：3名によるローテーション

電話転送による相談環境の整備により、事務所での対応が難しい場合に対応できるようにした。3月に試験運用を行った。

## 2)-④研修事業

- ・みんなねっとフォーラム

参加者 163名(会員107・非会員マスコミ含む56)

助成対象外となったことから、従前の企画委員会方式ではなく、みんなねっと事務局にて企画を担った。会員の要望や代表理事会の意見も含めて、『精神科医療をよりよくするために』をテーマとする。会場も公共施設(としま区民センター)を活用するなどの工夫をして実施した。

2020年2月21日開催当日は新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、事前申し込み者の一定数がキャンセルとなったものの、163名の参加者にはアルコール消毒などの協力を得て無事終了できた。

#### ・ブロック研修会・全国大会

北海道・東北	宮城	2019年9月24日(火)
北信越	石川	2019年10月22日(火)
関東	茨城	2019年10月30日(水)
甲州・東海兼全国大会	愛知	2019年11月7日(木)～8日(金)
近畿	兵庫	2019年10月5日(土)
中国	鳥取	2019年9月10日(火)
四国	香川	2020年2月25日(火)～26日(水)
九州・沖縄	沖縄	2020年1月30日～31日

### 3) みんなねっとを通じた社会啓発と広報活動の充実

#### ① 広報啓発活動

- ・月刊みんなねっと誌編集委員会の強化と誌面充実  
連載内容の見直しと、特集編成変更(短い原稿で複数構成)、表紙刷新実施。
- ・メルマガ・SNS(social networking service)等による重層的な広報・広告の発信
- ・みんなねっと監修書籍発行(
  - ①追体験 霧晴れる時(2019/7/11 ペンコムより発刊)
  - ②静かなる変革者たち(2019/11/11 ペンコムより発刊)
  - ③あなたの年金は診断書で決まる(2019/8/26 中央法規出版より発刊))
- ・ユニバーサルデザイン2020行動計画に連動した啓発活動の推進
- ・マスコミなど広報媒体の活用

#### ② 他団体等との連携

- ・日本障害者フォーラム(JDF)をはじめ、就労を含めた関係諸団体など当会の事業に則した取り組みとの連携
- ・日本医療政策機構「国際潮流と日本のメンタルヘルス政策」グローバル専門家会合の登壇

・NPO 法人全国精神保健職親会「精神・発達障害者の就労実現のために企業がなすべきこと」への参加・協力

・国連障害者権利委員会への事務局長派遣、 JDF 幹事会、代表者会議、パラレルレポート特別委員会を通じた連携

・ベルギー視察団への協力と国際的な精神保健医療福祉からの学び

全国大会(愛知大会)へのベルギーより召還、みんなねっと政策委員会 WG のめざす方向への反映などで、学んだことを法人の取組にも活かす。

・フランス大使館主催：精神科医師団との意見交換（2020/2/12）

・日本福祉大学東京同窓会との共催シンポジウムの開催（2020/11/30）

### 3 組織と事業内容

#### 1) 機関組織

①総会 1 回開催（6 月 10 日）

②理事会 4 回開催（5/17 書面、6/10、10/25、3/16 書面）

③代表理事会 7 回開催（原則偶数月第 1 水曜日）

\*事務局職員会議：日々の朝礼にて充足するように実施した

#### 2) 各委員会等

JR など交通運賃割引推進プロジェクトチーム、政策委員会、月刊みんなねっと編集委員会、家族学習会企画プロジェクト委員会、みんなねっとフォーラム企画、調査企画・実施

#### 3) 行政当局・公共団体等の役割受任

当会の目的を達成するためにも、行政当局への意見表明をはじめ政策提言などを行い、関係機関・団体への協力を推進する（下記は現時点受任を示す \*印は小幡）

① 内閣官房ユニバーサルデザイン 2020 関係閣僚会議

② 内閣官房ユニバーサルデザイン 2020 評価会議\*

③ 内閣府障害者政策委員会（岡田副理事長）

④ 厚生労働省 社会保障審議会障害者部会（本條理事長）

⑤ 厚生労働省 労働政策審議会障害者雇用分科会（本條理事長）

⑥ 厚生労働省 国の行政機関における障害者雇用に関するアドバイザー会議\*

⑦ 厚生労働省 精神障害者等の就労パスポート作成に関する検討会\*

⑧ 厚生労働省 相談支援の質の向上に向けた検討会\*

⑨ 国土交通省 交通事業者向け接遇研修プログラム作成等のための検討会議\*

- ⑩ 国土交通省 ホテル又は旅館に係わる高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準の改正に関する検討会\*
- ⑪ 国土交通省 基本構想等に関する検討会（2018・11～2019・3）
- ⑫ 国土交通省 改正バリアフリー法に基づく評価会議\*
- ⑬ 消費者庁 高齢障害者・障がい消費者見守りネットワーク連絡協議会\*
- ⑭ 全社協地域福祉部地域福祉権利擁護に関する検討委員会（木全副理事長）
- ⑮ 中央障害者社会参加推進協議会（本條理事長）
- ⑯ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構全国障害者技能競技大会競技委員会\*
- ⑰ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター 障害のある労働者の職業サイクルに関する調査研究委員会\*
- ⑱ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構評議員（堤理事）
- ⑲ 国際障害者交流センター運営協議会（倉町理事）
- ⑳ 日本障害者フォーラム(JDF)：代表者会(本條理事長)  
日本障害者フォーラム(JDF)：幹事会・条約推進委員会\*
- ㉑ 自由民主党ユニバーサル社会推進議員連盟(法人として)\*
- ㉒ 自由民主党政務調査会障害児者問題調査会（法人として）\*

# 正味財産増減計算書

2019(平成31)年4月1日～2020(令和2)年3月31日

(単位：円)

勘定科目	金額	合計・収支差額
<b>《経常収支の部》</b>		
[経常収支の部]		
<b>【経常収入】</b>		
助成金収入	3,868,674	
正会員会費収入	920,000	
賛助会員会費収入	35,080,036	
寄付金収入	6,878,621	
全国大会分担金	2,760,000	
雑収入	2,743,899	
受取利息収入	225	
<b>経常収入 計</b>	<b>52,251,455</b>	<b>52,251,455</b>
<b>【事業費】</b>		
期首商品・製品棚卸高 計	0	
調査研究事業	421,510	
ブロック研修(大会)	800,000	
機関誌発行	9,657,918	
家族リーダー(家族学習会)	1,811,278	
全国大会	4,140,000	
啓発小冊子	471,600	
家族支援フォーラム	339,129	
家族学習会	3,315,581	
・(事)雑損(使用しない)	0	
・(事)給料手当	12,699,142	
・(事)アルバイト給料	1,913,942	
・(事)法定福利費	2,483,771	
・(事)福利厚生費	1,195,333	
・(事)通信費	490,535	
・(事)水道光熱費	218,430	
・(事)旅費交通費	1,123,706	
・(事)広告宣伝費	341,987	
・(事)会議費	350,730	
・(事)事務用消耗品費	675,529	
・(事)地代家賃	2,992,494	
・(事)雑費	413,892	
<b>当期事業費 計</b>	<b>45,856,507</b>	

合 計	45,856,507	
期末商品・製品棚卸高 計	0	
事業費 計	45,856,507	45,856,507
経常収入－事業費	6,394,948	6,394,948
<b>【管理費】</b>		
役員報酬	0	
給料 手当	1,411,017	
アルバイト給料	212,658	
法定福利費	275,977	
福利厚生費	132,815	
通 信 費	53,316	
水道光熱費	24,273	
旅費交通費	2,147,550	
広告宣伝費	37,999	
会 議 費	38,971	
事務用消耗品費	75,058	
備品消耗品費	0	
地代 家賃	332,508	
顧問料	720,000	
保 険 料	0	
租税 公課	4,100	
諸 会 費	563,000	
リース 料	0	
雑 費	46,755	
雑損	10	
管理費 計	6,076,007	6,076,007
経常収支差額	318,941	318,941
<b>【その他資金収支の部】</b>		
<b>【その他資金収入】</b>		
その他資金収入 計	0	
<b>【その他資金支出】</b>		
その他資金支出 計	0	
当期収支差額	318,941	318,941
<b>《正味財産増減の部》</b>		
<b>【正味財産増加の部】</b>		
正味財産増加の部 計	0	
<b>【正味財産減少の部】</b>		
正味財産減少の部 計	0	0

《収支差額の部》		
財産振替前当期収支差額	318,941	
当期正味財産増加額	318,941	
前期繰越正味財産額	30,285,063	
当期正味財産合計	30,604,004	30,604,004



# 貸借対照表内訳表

2019(平成31)年4月1日～2020(令和2)年3月31日

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	157,303				157,303
普通預金(ゆうちょ会費用)	23,687,186				23,687,186
普通預金(ゆうちょその他)	741				741
普通預金(三井住友日常)	8,983,469				8,983,469
普通預金(三井住友助成等)	11,413,542				11,413,542
普通預金(三井住友JKA)	357,020				357,020
未収金(JKAより入金予定)	2,468,674				2,468,674
未収金(仙台市精神保健福祉団体連絡協議会)	6,640				6,640
前払費用(事務所賃料)	279,626				279,626
流動資産合計	47,354,201				47,354,201
2. 固定資産					0
固定資産取得支出(事務所保証金)			1,300,000		1,300,000
固定資産合計			1,300,000		1,300,000
資産合計	47,354,201	0	1,300,000	0	48,654,201
II 負債の部					
1. 流動負債					
前受金	17,867,070				17,867,070
従業員預かり			98,939		98,939
源泉預かり金			32,618		32,618
未払金	51,570				51,570
流動負債合計	17,918,640		131,557		18,050,197
2. 固定負債					
固定負債合計	0		0		0
負債合計	17,918,640	0	131,557	0	18,050,197
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					0
指定正味財産合計					0
2. 一般正味財産			30,604,004		30,604,004
(うち基本財産への充当額)			318,941		318,941
(うち特定資産への充当額)					0
正味財産合計			30,604,004		30,604,004
負債及び正味財産合計	17,918,640	0	30,735,561	0	48,654,201

# 2019(令和元)年度 財産

2020年 3月31日 現在

貸借対照表勘定科目	内訳	金額
《資産の部》		
【流動資産】		
現金	手許保管	157,303
普通預金	ゆうちょ銀行(会費用)	23,687,186
普通預金	ゆうちょ銀行(その他)	741
普通預金	三井住友銀行(日常)	8,983,469
普通預金	三井住友銀行(助成・寄付)	11,413,542
普通預金	三井住友銀行(JKA用)	357,020
未収金		2,468,674
未収金		6,640
前払費用		279,626
【固定資産】		
保証金		1,300,000
資産の部 合計		48,654,201
《負債の部》		
【流動負債】		
前受金		8,877,030
前受金		8,498,740
前受金		113,600
前受金		14,400
前受金		358,300
前受金		5,000
従業員預かり金		45,000
従業員預かり金		53,939
源泉預かり金		32,618
未払金		51,570
負債の部 合計		18,050,197
《正味財産の部》		
正味財産		30,604,004
正味財産の部 合計		30,604,004
負債・正味財産の部合計		48,654,201

